

# 小さなデイサービス緑ヶ岡

## 運営推進会議議事録

平成 29 年 7 月 6 日 (木)

14 時～15 時

小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム 1 階

司 会 川村桂恵 (小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム管理者)

書 記 松下龍一 (事務員)

参加者 松井佐恵 様 (東部北地域包括支援センター)

今野文子 様 (地域住民・ボランティア)

工藤チエ子 様 (地域住民)

吉田愛子 様 (ご利用者様)

黒田禧久江 様 (ご利用者様)

### 1 運営推進会議について

・運営推進会議とは～利用者や利用者の家族、市町村職員、包括支援センター、地域住民の代表者に提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の抱え込みを防止し、評価される事でサービスの質の確保を図ることを目的として設置する。

川村 ー まず初めに、町内会様のご協力があり、レクレーション等が充実していることをお伝えしたいと思います。

### 2 運営報告事業

(1) H29.1 月～6 月のサービス利用状況

介護度別利用状況

介護度	1月	2月	3月	4月	5月	6月
要支援 1	2名	2名	2名	2名	2名	2名
要支援 2	0名	1名	0名	0名	0名	0名
要介護 1	9名	9名	10名	11名	11名	12名
要介護 2	11名	11名	12名	12名	11名	11名
要介護 3	9名	9名	10名	8名	7名	8名

要介護 4	1名	1名	1名	1名	1名	1名
要介護 5	1名	1名	1名	1名	1名	1名
計	33名	34名	36名	35名	33名	35名

川村 ー ご利用時間が増えた方が結構います。

(2) サービス内容・行事等

1月：10日・餅つき

14日・28日\*予防事業開催

2月：桜をテーマに紙工作2種類 他紙工作

11日・25日\*予防事業開催

15日\*大地みらい信用銀行作品展出展

3月：ひな祭り・ちらし寿司作り ロールケーキトッピング (調理)

4月：シルバー作品展に向けての作品作り考案

21~28日\*春をテーマにあやめの壁面飾り完成

5月：紙工作\*カーネーション作り

4日\*調理レク 焼きうどん

p 1

8~12日\*母の日週間 手作りカーネーションプレゼント

25日\*花園町内会様よりマージャン卓をご寄付頂く

12日~\*夏をテーマに薔薇の花作り リース作り

15日\*調理レク お結びを作ろう~ランチバイキングを楽しむ

16日\*日本舞踊鑑賞会 華扇流華重絵会 4名 (はなおおぎふじしえかい)

18日\*種芋植え「利用者様参加」

19日\*紫陽花の花作り

21日\*野菜の種まき

6月：\*夏をテーマに藤の花作り 紙工作：藤の花

8日\*防災訓練 9：30~ 避難訓練・消火訓練実施 水消火器を使用

町内会から中嶋様・今野様参加。協力

12日~\*父の日週間 手作りカーネーションプレゼント

16日\*町内会合同カラオケ

町内会から中嶋様・今野様他 3名協力

\*各月お誕生会開催：手作りカード・おやつ作りを実施

川村 ー 工藤様が、玄関前の花壇に、キンレンカを植えてくださり、アジサイも剪定して下さった。

町内会のカラオケに6名ほど参加させていただいた。

—お知らせ—

\*7月29日(土)11時30分～13:00 「まこと夏祭り」開催

場所：釧路市貝塚2丁目6番24号

リハビリサポートまこと敷地内

\*8月2日(水)～6日(日) 9時～17時 「シルバー作品展」

場所：釧路市生涯学習センター 1階・2階

\*まこと通信7月号について紹介

### (3) 包括様から

松井 様 — 町内の方々と、沢山コミュニケーションが取れているという素敵なお話をお聞きして、心が少し温まっているところです。

◎「ひょうたん通信」について

・介護保険法の改定について

要支援を持っている人を対象に、総合事業が始まる。お元気な方が対象になるが、いつもお元気でいてもらえるように、お元気作りの教室や通いの場に参加してみてもどうか。

・地域の介護専門職による介護講座について

・認知症カフェ・地域カフェの浸透について

・職員紹介について

・若返りポイント、チェックリストについて

川村 — うちも、「短期集中予防サービス事業」を行っており、指導や相談に乗ってもらっている。

### 3 1月～6月事故報告について

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
アクシデント	0件	0件	1件	0件	1件	0件	2件
インシデント	0件	1件	0件	0件	0件	3件	4件
ヒヤリハット	0件	0件	0件	1件	0件	件	1件

《アクシデント》 2件

1)・3月20日・月曜日

報告者：進藤 英子

—事業所車物損事故（マーチ）—

8時40分頃、利用者様をホームに降ろしホーム前よりバックにて移動中、看板の単管2本目に運転席側後ろのバンパーをぶつけ亀裂が入る。

原因：周囲の確認不足

対策：過信せず、周囲を確認し運転を行う。

2)・5月12日・金曜日

報告者：清水 かおり

—事業所車（フィット）鍵紛失—

15時20分頃、利用者様1名の送迎が終わり鍵置き場に鍵を戻さず車椅子を降ろす。

15時40分他職員にフィットの鍵が無いと言われ探す。

車椅子を車から降ろす、また夕刊をご利用者様に渡す事に気が行ってしまう、鍵をどこに置いたか分からなくなり紛失。他職員3名と15時20分～19時30分頃まで探すも見つからず。

原因：使用后、鍵を所定の場所に戻さなかった為。

対策：使用した鍵（物品）は、必ず所定の場所に戻す。習慣付け

全鍵にキーホルダー鈴を付け、落とした直後に気が付くようにする。

《インシデント》 4件

1)・2月7日(火)

報告者：進藤 英子

—インスリンセット返し忘れ—

利用者：中村 恵美子様

17時15分頃、ご家族様の電話にてインスリンセットの返し忘れ発覚。

直ちに、進藤職員ご自宅へお届けし謝罪。

原因：担当した進藤職員は業務指導中の為、引き継ぎを受けて居ず、インスリンセットを鞆に戻さず送迎、帰宅。

対策：確認カードを作成。来所時に鞆に確認カードを付け帰宅準備の際、セットを鞆に入れると同時に確認カードを外す。 今後も確認を怠らず実施する。

2)・6月1日(木)

報告者：氏家 節子看護師

—食前薬の服薬介助忘れ—

利用者：白岩 フミ様

12時頃、昼食開始直後 食前薬未服用を発見。3口～4口程召しあがっていた所で気が付き内服して頂く。

原因：食事前の口腔体操後服薬介助をする決まりを忘れていた為。

対策：マニュアルの徹底 看護業務の意識付けを指導

「食前薬」カードの作成しテーブルに置く案:氏家看護師より

- 3) ・6月16日(金) 報告者:清水 かおり  
—記載間違いによる送迎ミス— 利用者:中村 恵美子様  
8時38分頃、利用者様ご家族より「送迎にまだ来ていない。」と電話を川村が受ける。直ちに清水職員に連絡を入れ中村宅へ向かうよう指示。利用予定表を確認。「HP休み」と記載あり。送迎表を確認。中村様の名前が入っておらず(8時15分) 定時送迎が無い為ご家族様より電話が入り発覚。清水職員は、他利用者様と間違え「休み」と記載し送迎表からも外したと話される。  
原因:他職員に確認を取らず思い込みで記載してしまった。  
対策:落ち着いた対応と判断。不安な時は、他職員に確認を取る。

- 4) ・6月22日(木) 報告者:氏家 節子看護師  
—食前薬の服薬介助忘れ— 利用者:白岩 フミ様  
12時頃、昼食開始直後 食前薬未服用を発見。3口~4口程召しあがっていた所で気が付き内服して頂く。  
原因:食事前の口腔体操後、服薬介助をする決まりを怠った為。  
対策:マニュアルの徹底 再度看護業務の意識付けと時間の確認を指導

《ヒヤリハット》 1件

- 1) ・4月24日(月) 報告者:清水 かおり  
—送迎表作成時の利用者様の名前漏れ— 利用者:白岩 フミ様  
8時20分頃管理者が送迎表を確認。白岩様の名前が無い事に気が付き、送迎中の清水職員に電話を入れ白岩様の名前がないことを伝え直ちにご自宅へ迎に行くよう指示を送る。その後、白岩様から「まだ、迎に来ないの。」と電話があり定時に迎にいける事を伝えお待ち頂く。  
原因:送迎表作成後の確認を怠った為  
対策:事前に作成した表の確認。前日の夕方のミーティングでも確認する。

質疑応答

- 今野 様 — 慣れでやると、そうなっちゃうよね。  
川村 — 送迎表を前もって1週間分作っておく。新規のご利用者が入って来たり、解約になったり、休みの連絡を電話で頂いたら、チェックを入れたりしてい

る。ご利用者によって使う車を配置している。

今野 様 — 一番遠い所はどこ。

川村 — 昭和の方がいます。材木町に住んでましたが、息子さんが昭和に家を見て一緒に住むようになった。送迎は、安全に、また、薬を持ったかの確認が大事なこと。うちの職員は、そういう声をかけてますでしょうか。

黒田 様 — お薬は持ちましたか。体調はどうですか。と聞かれる。

川村 — 黒田様の場合は、5月に入院されてから在宅酸素になって。それまではしてなかったんですけどね。

吉田 様 — 相当荷物もあって、大変なものね。

川村 — どの位置に座ったらいいのか。酸素の扱い方について、皆が周知しなければ困る事なので。

今野 様 — それがここに置いてあるわけ。自分が行ったり来たりする時は、別のものでやるわけ。

川村 — 小さいのをね。家に帰ったら家にもこれがある。手入れがある。

吉田 様 — 何時間もつ。

黒田 様 — これは時間ではない。持って歩くボンベは、ずっと下がっていくけど、これは3本目だけど、もう少し使えると思う。

今野 様 — 3本目って、5月から。

黒田 様 — 私はまだ1だから。

川村 — たとえば、ここに来て5時間以上はもつ。そういう事も勉強しないと、職員は分からない。手入れの仕方なども指導している。

今野 様 — それは誰がやるの。

川村 — 職員です。

今野 様 — 資格はあるんですか。

川村 — それは資格はいらないんです。医療行為ではないので。私も、病院に行き、カンファレンスの時に使い方を聞いてきて、全職員に指導している。

今野 様 — ああいう専門の店の人って、釧路に何人くらいいるんですか。

川村 — 会社は何軒かあって。

黒田 様 — 病院が責任持つんだよね。

今野 様 — 病院の派遣なんだよね。知らない人が勝手に持って来てできないよね。

黒田 様 — そして、ちゃんと決まってるのね。

吉田 様 — 命に係わる事なものね。

今野 様 — 外れてしまって、これも無くなったらどうなるの。

黒田 様 — 私も軽い方だから、たまに外して様子を見る。夢中になってやっていると、つい忘れる。動かなかつたら、そんなに苦しいという事はない。階段を昇り降りしたり、トイレに行ったりすると、胸の辺が重苦しくなる。

- 今野 様 — 胸が苦しくなって先生に言ったら、シュッシュッとやるニトロを舌を上げてやるとすっとするやつをくれた。
- 川村 — 心臓ですけど、肺の方なので、病気によって違う。気管拡張で、空気を取り入れるものとして使っている。
- 今野 様 — 肺と心臓とは違うのね。
- 川村 — お風呂の時は、今 1.5 にして入ってもらっている。
- 吉田 様 — そういうふうに調節できるんだ。
- 川村 — 5 以上になると、鼻が乾燥するんです。私達も風を受けたら、息苦しい時がありますよね。その状態になるので、お水を入れて、それが蒸気になって、潤いですよ。
- もう一人重たい方がいて、4～5に上げると空気が漏れてくる。3.5 にすると適量なので苦しくないと言う。入って来るは、吸う力が弱いじゃね。職員も、そういう様子を見ながら調整することが必要となる。
- 吉田 様 — 酸素は、我々普通何とも思わないけどね。
- 川村 — パルスオキシメーターといって、うちで測るやつ。朝はあれで血液中の酸素濃度（SPO2）が分かるようになっている。統計を取って、その値が下がったら、ご家族様にお知らせしている。
- 黒田 様 — 風邪気味で、寝てばかりいた。おかゆぐらい食べて。病院に行き、先生が救急車呼べと言って、酸素マスクもつけてくれた。
- 吉田 様 — 早くて良かったね。
- 黒田 様 — 私は先生に、もういいって言ったの。こんなの付けてまで生きなくても。自然に任せますって。そしたら先生は、まだ 83 でしょって。子供たちも心配してくれて、ありがたいと思う。
- 川村 — 工藤様、何かありますか。
- 工藤 様 — ぼけて、物忘れが激しいんだわ。
- 吉田 様 — まだ、バリバリ仕事してるもの。
- 工藤 様 — バリバリ仕事するだけお客さんが来ないんだわ。
- 川村 — 家に居ると、ボケ老人になるよ、だからデイサービスに休まずに来てねって言っている。皆さん休まずに来てくれている。
- 今野 様 — 定員ってあるの。
- 川村 — 一日 14 人です。
- 今野 様 — それを何人で見てるの。
- 川村 — 今、職員は 3 名。調理がいます。ボランティアさんがいてくれて助かっています。
- 今野 様 — 要支援 1 で、前に 1 カ月ここに通っていた。
- 川村 — 車を運転されるうちは、普通の方ですからと言う事で。

今野 様 — 脳梗塞で 2 カ月入院して、病院の先生が、退院した時はまだ手が不自由だったから。1 カ月くらいしてから、リハビリで努力して歩けるようにもなったし、車も運転できるようになった。

川村 様 — 吉田様も軽い脳梗塞で、それが職員が休むという電話を頂いた時ですよ。

吉田 様 — 電話をした時に、言葉がろれつが回っていないというので、走って来てくれた。私の顔を見て、だめだよすぐ救急車呼ぶからねって言ってくれた。早かったから、入院せずに済んだ。娘たちがいたけど、誰もそうなっていることに気づかなかった。

今野 様 — 電話が一番わかる。

吉田 様 — 娘が休みなさい、電話かけてやるから。でも、私がかけるからいいわって言ってかけた。お世話になって早くてよかった。

川村 様 — ご家族様の中でも、どういう送迎をしますかと聞かれ、私の送迎は間違っているのかなと思ったけど、はっきりと声かけしてノックした。出てこないとなったら、お部屋まで上がってますと言ったら、それでお願いしますと言われた。ご家族様も心配している。デイサービスの意味を職員もきちんとしていかなければと思う。

松井 様 — ボランティアさんは、どのくらいの頻度で来ているんですか。

今野 様 — 私は 1 週間に 1 回、木曜日に来ている。

吉田 様 — もう少し来なさい。

今野 様 — 用事があって木曜日しか空かない。

川村 様 — 今、麻雀もレクに取り入れ、麻雀の方でも 2 名来ていただいている。

松井 様 — じゃー結構日替わりな感じで誰か彼かが来ているんですね。

川村 様 — 女性（40 代）の方が、月・水で来ていただいている。

松井 様 — いいですね。色んな方が出入りするというのは。

川村 様 — 気軽に、ちょっとした時間でもいいですよ。

今野 様 — 私は、居過ぎではないですか。朝の 9 : 30 から夜の 4 : 30 までいて。ボランティアに行ってると言ったら、2 時間くらいかと聞かれる。いやいや夕方までと言うと、ふーんとか言われる。

川村 様 — 今後とも、よろしく申し上げます。今野様が来て下さるお陰で、中島さんとか町内会とも結びつきが出来た。

※ サービスの向上を目指して、今後とも取り組んでいきたいと思っております。本日はありがとうございました。

次回は、平成 30 年 2 月 8 日（木）を予定しています。近くになりましたら、ご連絡を差し上げますので、よろしく願いいたします。